



学校だより



校長 杉村 幸恵

見直してまいります

六月二十六日(金)のレベル4土砂災害警報発令中での学校再開、登校判断につきましては、大変御心配をおかけすることとなり申し訳ありませんでした。過日、香芝市教育委員会事務局学校教育課学校支援室からのミマモルメにもありましたように、学校再開については関係機関と連携し指示を仰ぎながら進めました。しかしながら、休校のミマモルメが送信された後での突然の変更であったこと、また、学校が五月二十九日付けで配布しておりました「暴風雨等の防災気象情報が香芝市に発表されている場合の対応について」の内容とは違った対応になったことが混乱を招く事態になりました。大変申し訳ありませんでした。

お子様を心配しながらも送り出していたいただいた保護者の皆様、また、心配のため登校見合わせの判断をいただいた保護者の皆様、あるいは、休校のミマモルメ受信の後メールを確認することができない状況であった保護者の皆様、御意見を直接お寄せいただいた保護者様など、全ての保護者の皆様に大変な御心配をおかけしましたこと改めてお詫び申し上げますと共に、お力添えに感謝いたします。そして何より、様々な状況に対応しながらも、怪我なく過ごしてくれました子供たちを心から労りたいと思います。

なお、「暴風雨等の防災気象情報が香芝市に発表されている場合の対応について」につきましては、関係機関の指示に従い改訂を進めているところです。来週をメドに再度配布させていただく予定をしております。今しばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。また、中止と連絡いたしました学習参観日につきましては、開催時期を検討し、予定が立ち次第御案内する方向で考えております。こちらにつきましても、余裕をもったお知らせができるよう努めてまいります。

誕生！おめでとう！



このところ、休み時間になると、キラキラした目で校長室前の飼育かごを覗く子供たちがたくさんいます。冬から育てていたカブトムシの幼虫が元気に孵っているか



らです。現在三匹が孵り、元気にゼリーを食べて動き回っています。オス・メス・羽の大きさなど個性があり、どのカブトムシもかわいいです。それぞれに精一杯いのちを輝かせて生きている姿を見ながら、「自分も大事に、人も大事に」思う気持ちを育ててほしいと思います。

「食育」食を通じて生きる力を身に付ける教育

昨年もお知らせしたことがありますが、本校は給食の残食率が多いことが課題の一つとなっています。これまでに、「ラッキーにんじん」など野菜の切り方に工夫した調理をしていただいたり、完食した学級には「ペロリン賞」として讃えたり、「あと、ひとくち食べよう！」と呼びかけたり、各学級でも配膳の仕方を工夫したりと、様々に取組をしてきました。それに加えて、本年度は、「食缶空っぽプロジェクト」に取り組んでいます。これは、配膳の段階で一旦食缶を空っぽにするという取組です。

一人一人の食べる量や好き嫌いは、個によってそれぞれです。しかし、自分で「これだけは頑張る。」と決めた量は頑張って食べてほしいです。

四月から三ヶ月。子供たちの意識も少しずつ変わってきたように感じています。しかし、魚や野菜の残食は、なかなか減らないのが実情です。残念です。おうちではいかがでしょうか。加えて、毎朝、朝ご飯を食べている児童が約85%にとどまっていることも気になります。これは、総児童七〇人のうち、約一〇六人が日常的に朝ご飯を食べていないことになります。

『食べることは生きること』『自分の体は食べたものでできている』。子供たちも自分の食生活に関心をもってくれる食育の取組も考えてまいります。

〇〇お知らせ〇〇 暑さ対策 第三弾 「登下校中の冷却グッズについて」

保護者の判断のもと、登下校時に使用していただいても構いません。安全・衛生上、次のように指導します。御理解・御協力をお願いします。

- 使用は登下校時のみ。
- 自分のは自分で使用。貸し借りはしない。
- 首につけて使用するもの。
- 電動式のもののは不可。
- 自分で着脱し収納できるもの。学校ではパウチ袋等に入れて保管。
- 必ず記名する。
- 冷却タオルを使用する場合は、首にかけるだけの使い方は禁止。通し穴やスナップ等を使用して必ず対策する。

